

1. 生産管理

戦略情報センター
POP研究所 山口 俊之

管理のポイント

生産管理の目的は納期を守ることである。生産管理システムでは3つの機能を持たせている。1つは資材所要量計画に基づく調達納期のコントロール管理、2つは在庫のコントロール管理、3つは生産現場の生産実績情報を把握しながら工程進捗をコントロール管理することである。

POPの役割

POPの役割は、生産実績情報の自動収集と生産現場の日報・月報を自動作成したあと、生産管理システムへの生産実績情報をアップロードすることで、生産現場のペーパーレスおよびインプットレスを実現する。

POPの構成

POPパソコンから作業指示をPOP端末機にダウンロードして置く。作業者はPOP端末機の画面からこれから取りかかる作業指示番号(製造番号、ロット番号など)を選択し、"作業着手"の押しボタンを押す。作業が始まった後に発生する出来高信号を自動採取し、作業指示番号で自動的にくくっていく。そして作業の終わりで"作業終了"の押しボタンを押せば、POP端末機の内部で生産実績情報に編集してPOPパソコンへ自動送信する。POPパソコンでは各POP端末機から送られてきた生産実績情報を1日分集めて日報を作成し、月末には月報を自動作成する。そして毎日POPパソコンからその日の生産実績情報として生産管理システムへアップロードする。

号、ロット番号など)を選択し、"作業着手"の押しボタンを押す。作業が始まった後に発生する出来高信号を自動採取し、作業指示番号で自動的にくくっていく。そして作業の終わりで"作業終了"の押しボタンを押せば、POP端末機の内部で生産実績情報に編集してPOPパソコンへ自動送信する。POPパソコンでは各POP端末機から送られてきた生産実績情報を1日分集めて日報を作成し、月末には月報を自動作成する。そして毎日POPパソコンからその日の生産実績情報として生産管理システムへアップロードする。

活用成果

生産実績の収集に使われる工数は3~40人の職場で、月当り300時間以上にもなっている。この工数をゼロにできるメリットは大きい。しかも現場監督はしながらにして当日の日報ができるので、反省と対策の業務革新に役立つ。

図1 生産管理のPOP活用法

